會報

令和３年6月19日　発行

第　７５　号

関東地区整形外科勤務医会
発行者：会　長　江畑　　功
発行所：事務局　新井　嘉容
〒332-8588　埼玉県川口市西川口 5-11-5
済生会川口総合病院　整形外科
関東地区整形外科勤務医会
電　話　048－253－1551
FAX　048－256－5703

コロナとロコモ

横須賀共済病院
江畑　功

新型コロナ感染症拡大の勢いはいまだ衰えず、関西や東京など３回目の緊急事態宣言という状況になりましたが、まだその効果は見通せないままであります。欧米などではすでにワクチンの効果で感染者が減少しつつあるという報道もみられるようになりましたが、日本では医療関係者でさえもまだ接種を終えていない方が大勢いるという状況です。今夏に延期された東京オリ・パラですが、このような状況下ではたして開催できるのでしょうか。アスリートや関係者には心待ちにされている方も多くいらっしゃるとは思いますが、医療的なサポートも要求される我々医療関係者としては複雑な心境にならざるを得ません。

いろいろな制限を要求されたこの１年あまりでしたが、試合や練習の機会減少を余儀なくされたアスリートだけではなく、一般市民にとっても運動機能の低下が危惧されてきました。各種マスコミでもいろいろ報道されましたが、昨年日整会が行った一般市民に対するアンケートでも、運動機会が減ったと自覚している方が多く見られました。「健康日本 21」でロコモ認知度を 2022 年に 80%にするという目標を掲げてきた日整会としては、より多くの一般市民へのアピールする機会とも捉えながら、さらなる活動をしてまいりました。

（次頁へ続く）

目次

１．コロナとロコモ ……江畑　功‥１
２．脊椎脊髄疾患に伴う痛みに対する治療戦略 ……石井　賢‥２
３．DPC からみた入院診療の収益性 ……小森　博達‥３
４．令和２年度関東地区整形外科勤務医会幹事・常任幹事会 議事録 ……４
５．関東地区整形外科勤務医会常任幹事会（メール審議）議事録 ……６
６．事務局から ……10
７．お知らせ ……11
８．入会申し込み書 ……12

スタート前の 2012 年に 17.3%であった認知度は、ちょうど折り返しとなる 5 年経過時点の 2018 年に 48.1%まで上昇したものの、それ以後はやや伸び悩みの状況であり、直近の 2021 年調査では 44.6%という状態です。

一方、老年医学会などがロコモに遅れて提唱してきた「フレイル」ですが、厚労省への働きかけの強さ？もあって、昨年には「フレイル健診」などと報道されるようになってきました。我々整形外科医としては忸怩たる思いもあるのですが、意外とその認知度は上がっていないようです。昨年に一般の調査会社が行ったインターネット調査によると、50～70 歳代の男女 1.236 名において、「フレイル」は 23.5%、「サルコペニア」が 34.1%、「健康寿命」は 92.5%であり、「フレイル健診」に至っては 10.3%であったとのことです。「ロコモ認知度」は 20 代からも含まれておりますので、50 代以上でおおまかに計算すると 70%前後になるかと思われ、決して悲観することではないと考えます。これは関東地区勤務医会所属の泉田先生や大江先生、石橋先生など多くの先生方の長年にわたる活動によるものであり、この紙面を借りて感謝を申し上げます。さらに今後も勤務医会としてロコモ啓発活動に協力していくべきと思われ、皆様方のご協力をお願い申し上げます。

患者さんに「コロナを恐れて家にこもってばかりいるとロコモが進みますよ」と話すようにしてはいるのですが、自分自身は普段運動らしきことをほとんどしておらず、あわててロコモ度テストをやり直してしまいました。皆様もお気を付けください。

脊椎脊髄疾患に伴う痛みに対する治療戦略

国際医療福祉大学医学部整形外科学　主任教授

石井　賢

この度、12 月 12 日に開催されました令和２年度関東地区整形外科勤務医会において、講演をさせて頂きました。コロナ禍にも関わらず、多くの整形外科勤務医会の先生方にご参加頂きまして、大変光栄でございました。あらためて感謝を申し上げます。今回は脊椎脊髄疾患に伴う痛みの治療戦略と広いテーマでしたので、これまで私が主に従事してきた疾患である環軸関節回旋位固定、首下がり症候群、頚椎人工椎間板置換術、最小侵襲脊椎安定術（MISt: Minimally Invasive spine Stabilization）の治療戦略や今後の展望を中心にお話をさせて頂きました。ここに講演内容を一部ご紹介させて頂きます。

環軸関節回旋位固定は主に小児に発症する斜頚を伴う疾患です。発症後数ヵ月を経過した陳旧例では整復困難や再脱臼例も少なくなく、外科的治療が広く行われてきました。私どもは新たな治療戦略として保存療法であるリモデリング療法を開発し、50 例以上実践し良好な治療を得ています。首下がり症候群は近年増加傾向にある疾患で、我々は現在病態解明や治療法の確立を実践しています。治療は外科的治療が主体となりますが、これまで約 50 例の手術成績は概ね良好です。

脊椎疾患の治療はインストゥルメンテーションの著しい進歩に伴い、今日では新技術を含む様々な治療が行われています。脊柱変形では骨切り術を併用した後方矯正固定術により、良好な矯正が獲得できる反面、侵襲の大きさや合併症が問題視されています。近年では、超高齢社会の到来と患者のニーズを背景に経皮的椎弓根スクリュー（PPS）、側方経路腰椎椎体間固定術（LIF）、Anterior Column Realignment（ACR）、頚椎人工椎間板等を用いた最小侵襲脊椎安定術（MISt）が導入され、変性、変形、外傷、腫瘍、感染などのさまざまな病態に広く応用されています。今後の MISt の発展には、最小侵襲手術のさらなる進歩や新技術の開発だけではなく、コンピュータ/仮想現実・拡張現実/人工知能/ロボット支援など

の導入、術前の病態評価のための新たな診断法の確立などが重要です。さらに言えば、理学療法や薬物療法などの保存療法、予防医療、再生医療などを含むより横断的かつグローバルな治療アプローチが必要不可欠です。つまり最小侵襲脊椎治療（minimally invasive spine treatment；MIST）といわれるような概念にほかならず、患者、医師、企業、医療経済すべてにおいて、低侵襲であるべきと考えます。

国際医療福祉大学医学部整形外科学教室は 2017 年に開講した最も若い教室ですが、今後の整形外科学の発展に微力ながら貢献したいと思っておりますので、引き続きご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

DPC からみた入院診療の収益性

横浜市立みなと赤十字病院　整形外科

小森　博達

包括医療制度（DPC）は診断と処置の組み合わせによって、入院 1 日当たりの医療費が定められる日本独自の制度で、医療費の適正化、医療サービスの効率化や標準化を目指して 2003 年 4 月から導入された。導入初期に懸念された「粗診粗療」は起こらず、診療内容が電子化された結果、病院間のベンチマークが容易に比較検討できるようになったため、自院の診療内容が随時見直され、入院診療の標準化が徐々に進んだ。また、DPC 環境下での経営安定化をめざし、地域連携の強化や外来機能の強化を進めた結果、平均入院日数は徐々に短縮し、導入後 16 年間で効率化も確実に進んだ。

この間、2 年毎の改訂時に、医療機関別係数の中の調整係数が別の機能評価指数に置き換えられ、病院群が新設され基礎係数が導入されただけでなく、疾患や治療内容によって医療資源の投入時期に応じた点数設定にするなど、制度上の大きな変更も行われてきた。一方、整形外科関連の DPC の分岐も、改訂時に関連学会からの要望や厚生労働省から提示されたデータの解析から多くの提案を行い、簡素化と精緻化が進められた。

このような変化の中、各医療機関は収益性を保持し続けるためにいろいろな取り組みを行ってきたが、入院期間の短縮によって生じる空床を新たな患者で充足できなくなったり、職員の過重労働が引き金となり人員不足に陥った医療機関もあり、病床数の削減や一部の病棟を急性期病棟から療養型病床などに変更することが進んでいる。また、DPC による支払制度そのものにおいても高額薬剤を使用した場合の均一性の問題などが残っているなか、医療の効率化は概ね限界に近づいてきている。医師の働き方の改革も求められている中、さらなる効率化を無理やり推し進めれば、医療現場が荒廃し、患者へのしわ寄せが生じるなどあるべき医療が損なわれる可能性もあるので、自院の置かれている環境の中であるべき医療を常に念頭に置いておく必要がある。

令和２年度関東地区整形外科
勤務医会幹事・常任幹事会
議事録

日時：令和２年12月12日（土曜日）14:30〜15:30
場所：「ＡＰ東京八重洲」 11階 K+Lルーム
参加常任幹事
新井　嘉容、石橋　英明、泉田　良一、伊室　貴、
岩部　昌平、浦部　忠久、江畑　功、大野　隆一、
落合　直之、桂川　陽三、鎌田　修博、亀山　真、
苅田　達郎、小森　博達、佐々木　孝、清水　健太郎、
進藤　重雄、田尻　康人、土屋　正光、富田　善雅、
中川　照彦、新関　祐美、西本　和正、平泉　裕、
別府　保男、星川　吉光、松原　正明、三上　容司、
三原　久範、村松　俊樹、森岡　秀夫、山崎　隆志、
山本　精三
（33名：敬称略、五十音順）

【報告事項】

1　理事会報告
江畑先生より報告
・第93回学術集会　収支は大幅に黒字に
94回（来年５月）もハイブリッドを検討中
詳細は１月に決定予定
・JOANR　開始後６ヶ月経過の10月まで35万件と登録順調
手外科学会から術式追加要望あり承認　今後も各学会から要望あれば検討を予定
・１月予定の専門医試験　各都道府県会場でCBT試験予定　不正には厳重監視の予定
・研修医向けの「整形外科を目指そう」パンフレット改訂　HPにも掲載
・日整会誌は2021年４月から原則電子化に
・次年度整形外科専攻医希望583名予定
東京・大阪など一部シーリングの影響もあるが調整可能と予想
・機構から専門医更新時の試験の設定や過疎地域への医師派遣などの要望あり交渉中

2　ホームページ・会報
伊室先生より報告
・会報74号発行
・HPと会報のFAX番号間違いを訂正
ハガキによる連絡の経緯とその間の対応を報告
・今回の修正作業を機に、ホームページ管理業者と2021年１月から定額で、何度でも修正可能な契約内容に更新した

3　ロコモ チャレンジ！推進協議会の活動報告
大江先生欠席のため、石橋先生より報告
・協議会の開催をオンラインで実施
・新しいパンフレット（９月完成）、ロコモ度３を各地で動画にて紹介
・過去実施のロコモ度テストデータ１万人調査の結果をJOSに掲載予定

4　外保連関係の報告
勤務医会社保委員会亀山先生の報告
・令和４年度診療報酬改定の為の要望アンケートに「骨折経皮的鋼線刺入術」の増点を追加
日整会　社保・外保連平泉先生の報告
・日本人工関節学会が外保連に加盟
・外保連手術委員会：各学会からの試案
1「肩腱板断裂手術」（肩関節学会）
2「自己骨髄由来間葉系幹細胞移植術」脊髄損傷が適応（脊椎脊髄病学会）
3「脊髄硬膜外血腫除去術」　（脊髄外科学会）
4「顕微鏡下腰部脊柱管拡大減圧術」（脊髄外科学会）
5「緊急人工骨頭挿入術：股関節　新しい評価軸」（骨折治療学会）
6「緊急骨折観血的整復固定術・大腿骨　新しい評価軸」（骨折治療学会）
7「インプラント周囲偽関節手術（単純）・胸郭インプラント周囲骨」（骨折治療学会）
・外保連処置委員会：各学会からの試案
1ギプス包帯固定管理　診察後のギプス管理（日本臨床整形外科学会）
2神経ブロックおよび注射施行時における超音波ガイド使用（日本臨床整形外科学会）
3運動器リハビリテーション料　休日実施（日本運動器科学会）
・社会保険等委員会
1バイエル薬品「ウログラフィン注の適応症の一部削除」
ウロブラフィン　関節（整形）領域から適応削除

2 椎間板ヘルニア徒手整復術　廃案要望

・「令和４年度改定用に日整会が要望する項目」について説明

勤務医会が記載を担当する項目

新設：「放射線被ばく操作が必要な手術に関する加算」

改正：

1「頸胸椎後縦靱帯骨化症前方進入および黄色靭帯骨化症手術における複数追加加算」

（担当は勤務医会となっているが、日本脊椎脊髄病学会の誤り？）

2「ガングリオン穿刺術、ガングリオン圧砕（片側）の注釈をつけての算定」

材料:

1「マイクロドリルでのダイアモンドバー及びスチールバー」

2「放射線防御手袋」

5　内保連関係の報告

石橋先生より報告

・サルコペニアに対するDEXAでの骨格筋量測定、診断基準の改定を希望

6　関東地区整形外科勤務医会（第71回教育研修会）

事務局新井先生より報告

2020年12月12日（土曜日）　16:00～18:00

「ＡＰ東京八重洲」　11階K+Lルーム

演者控室11階Nルーム

・演題1

座長：清水　健太郎 先生（佐野厚生総合病院）

演者：国際医療福祉大学医学部整形外科学主任教授　石井　賢先生

演題：脊椎脊髄疾患に伴う痛みに対する治療戦略

必須分野番号：7, SS（追加申請した事を松村先生から補足）

・演題2

座長：中川　照彦 先生（同愛記念病院）

演者：横浜市立みなと赤十字病院副院長　小森　博達 先生

演題：DPCからみた入院診療の収益性

必須分野番号：14-4

7　令和３年３月の関東地区整形外科勤務医会

常任幹事会の日時、開催形式

配信日：2021年3月15日（月曜日）

形式：メール審議

上記内容にて開催を確認

8　来年６月の関東地区整形外科勤務医会

・幹事・常任幹事会、総会、第72回教育研修会の日時、場所

日時：2021年6月19日（土曜日）

場所：ＡＰ東京八重洲

14:30～15:20　幹事・常任幹事会

15:30～15:50　総会　11階K+Lルーム

15:50～16:00　商品説明

16:00～18:00　第72回教育研修会　2演題

（18:00～情報交換会　11階Mルーム）

上記内容にて開催する旨、確認

ただし、今後の状況も注視し、開催方法を検討する場合あり

9　令和３年10月の常任幹事会の日時、開催形式

配信日：2021年10月18日（月曜日）

形式：メール審議

上記内容にて開催を確認

10　その他

事務局FAX番号訂正のお知らせ

事務局総務　新井より再度報告

誤：048-256-8703

→正：048-256-5703

報告事項２において、伊室先生より報告・説明済

【審議事項】

1　第72回教育研修会　2021年6月19日（土曜日）の演者の選定に関して

（前回常任幹事会において審議継続）

教育研修委員会　委員長　村松先生より報告

・演題1

演者：横浜市立大学整形外科教授　稲葉 裕 先生（江畑先生からの推薦）

演題：股関節手術の進歩～疼痛に対するマネージメント～（第70回予定演題）

稲葉先生より快諾を頂いた

・演題2

演者：前厚生労働医務技監　鈴木 康裕 先生（山縣先生からの推薦）

演題：これからの医師の働き方～新しいパラダイム～（第70回予定演題）

現在、交渉中（本年8月に退官されたため、コンタク

トに時間を要する）

2　第72回教育研修会　2021年6月19日（土曜日）の座長の選定

・第70回予定演者に内諾頂けた場合、同様に内諾を頂いていた先生方に依頼する

演題1　座長：横須賀共済病院　院長補佐
江畑 功 先生

演題2　座長：千葉労災病院 脊椎センター長
山縣 正庸 先生

3　令和3年東日本整形災害外科学会

主催：岩手医科大学医学部整形外科学講座教授
土井田　稔先生

会期：2021年9月17〜18日

パネル・シンポに関して

テーマ、演者、座長など

村松先生から説明

・テーマ候補としてコロナ関連、JOANR、レセプト関連等、検討している

常任幹事・幹事の先生方から、テーマに沿った演者選定に協力を依頼

4　令和3年12月の関東地区整形外科勤務医会幹事・常任幹事会、総会、第73回教育研修会の日時、場所について事務局案

日時：2021年12月11日（土曜日）16:00〜18:00

場所：ＡＰ東京八重洲通り

例年に合わせ、上記日程にて開催決定（会場予約完了）で承認

5　新常任幹事の推薦

候補者・推薦者：なし

6　新幹事の推薦

候補者・推薦者：　なし

7　その他

・鎌田先生より説明

「整形外科学会からの依頼(12月11日付け)」

学校保健委員会の中に　運動器検診推進協議会を立ちあげることとなる。その協議会における委員の推薦を整形外科勤務医会からもお願いしたいと通達あり、2021年1月末迄に委員を推薦予定

・次回　常任幹事会

配信日：2021年3月15日（月曜日）

形式：メール審議

以上

関東地区整形外科勤務医会
常任幹事会（メール審議）
議事録

配信日：2021年3月15日　月曜日

方法：メール審議（回答締切 3月20日 土曜日）

【報告事項】

1　理事会報告

江畑先生より報告

令和2年度理事会報告（11〜2月）

・JOANR 1月までで60万件登録

・手の外科学会・小児整形外科学会から術式追加要請あり受諾

・人工関節のバーコードアプリ開発中

データ利用は7月以降に可能となる見込み

・今後3年間の日整会3学術総会はハイブリッド形式で行う予定

今年5月の社員総会は基本的に現地開催

学術総会会長選挙は郵送での投票で行う予定に

Web講演の不正受講の定義・予防策を策定

1日での取得可能単位は4単位を上限と決定

・専門医試験を1月にCBTで行った（受験者約1200名）が、途中PCのトラブル発生

公平を期すために合格率が97.4%（例年87〜88%）となった

・代議員選挙は無投票で全員当選決定

関東のみ例年定員割れとなっている（JCOA？）

・専認構から専門医更新時の試験形式について打診あり：e-learning　e-testingなどを検討中

・2021年度整形外科専攻医希望者は583名

東京・大阪・石川でシーリングの影響あるも調整中

・厚労省から今後オンライン診療（初診も含めて）に関して具体策の提示を依頼され検討中

2　ホームページ・会報

伊室先生より報告

ホームページ：會報74号のPDFファイルを掲載するとともに　「入会申し込み」と「変更届」のファイルを変更した

3　ロコモ チャレンジ！推進協議会の活動報告

大江先生より報告

2020年12月以降のロコモ チャレンジ！推進協議会の活動についてコロナ禍のなか　オンラインでのPR（ロコモ　ONLINE）を中心に行っている

・ホームページ内に特設サイト「コロナに勝つ、ロコモに勝つ」

https://locomo-joa.jp/withcoronaを作成

コロナ禍での健康二次被害であるロコモリスクと対処法を啓発するサイト

特に対処法についてはロコモチャンネルという動画投稿サイトを設営

先生方の動画での投稿を募集中

・ロコモパンフレット2020年版の解説

ロコモパンフレット改定を受け　内容を理解してもらうための自治体向けの解説「ロコモオンラインセミナー」を実施

第1回（2020年11月18日）講師：石橋英明先生

第2回（2021年3月16日）講師：帖佐悦男先生

2021年中にさらに複数回実施予定

・2021年2月　自治体・法人向けロコモ解説動画「いとうまい子と学ぶロコモ教室」の動画

https://locomo-joa.jp/withcorona/locomo_room/を作成、配信開始

・嘉門タツオさんが歌う「ロコモティブシンドロームの歌」

https://locomo-joa.jp/withcorona/locomo_songの配信

佐藤整形外科院長　佐藤公一先生との対談も掲載

・すべての年代にロコモを自分事として考えてもらうための「ロコモ年齢」の算出法を検討中

4　外保連関係の報告

勤務医会社保委員会　亀山先生より報告

・2月18日開催の外保連実務委員会：令和4年度診療報酬改定のための医療技術評価提案書作成要項が示された

勤務医会では以下の要望を申請している.

技術新設

・放射線被ばく下操作が必要な手術に対しての加算→勤務医会が記載担当（日整会との連名）

技術改正

・骨折経皮的鋼線刺入固定術（K045-3）の増点→勤務医会が記載担当（日整会，日手会，日本足の外科学会，骨折治療学会との連名）

・ガングリオン穿刺術（J116-3）、ガングリオン圧砕（J116-4）に（片側）の注釈をつける→勤務医会が記載担当（日整会との連名）

・頸胸椎後縦靱帯骨化症前方進入および黄色靱帯骨化症手術における複数椎間加算

材料（新規，改正）

・脊椎手術時のマイクロドリルでのダイヤモンドバー及びスチールバー（日整会との連名）

・放射線防御手袋（日整会との連名）

提案書締め切りは3月31日（外保連へは勤務医会事務局から送信をしていただくように依頼されている）

厚労省のヒアリング（本年7月～8月頃）は今回はオンラインで行われる予定

日整会社保・外保連　平泉先生より報告

令和２年度第２回外保連運営委員会

（令和２年11月25日開催）議事録

・事務局移転

11月1日付で外保連が外科学会から独立し、池袋のビル内に貸事務所設置

委員会等を集合して開催する場合は従来通り外科学会の会議室を利用

・各種委員会報告

1 手術（川瀬委員長）

・４年ぶりに実態調査を行い　２月までにデータを整理し　外保連試案2022に反映する予定

2 処置（平泉委員長）

放射線被曝について対象試案を募ったが提出は1件で試案への反映は行わず整形外科学会内で進める予定

STEM7コーディングについて処置特有のアプローチを検討

3 検査（土田委員長）

検査コーディングは引き続き検討

AI診療について技術度設定を検討しており、診断技術度と管理技術度の設定案を用意

4 麻酔（山田委員長）

特定看護師の要素を試案内に組み入れることを検討

5 内視鏡（清水委員長）

消化器内視鏡学会からAI 診療を含む試案の申請

があり、ソフトウェアという形で試案に反映することを検討

6 実務（瀬戸委員長）

令和２年度の改定を受けて緊急要望を提出

令和４年度の改定に向け例年通り活動を予定

7 広報（松下委員長）

松下広報委員長が役職定年となるため　後任は河野副委員長が務める予定

次回運営委員会において副委員長を決定する予定

内保連・外保連合同AI 診療検討委員会

・次回診療報酬改定において　AMED で議論が進んでいる領域ではAI 診療に関する要望が出てくることが想定される

・提案書を出す前に検査委員会報告にあった技術度のように外保連試案における設定を引き続き検討していく

・新規加盟学会

新規加盟学会について審議を行った

【日本人工関節学会】

審議結果：承認

5　内保連関係の報告

石橋先生より報告

・令和４年度社会保険診療報酬改定について　日整会および日本腰痛学会の共同提案で　DXA・BIA による筋量測定が昨年の第１次提案書で提案された

内保連への最終提案書の受付期間は2月25日～4月30日で、上記の提案も提出される見込み

最終提案書は５月のヒアリングを経て確定されその後内保連としての提案書が作成、提出される予定

6　日整会代議員選挙結果

以下13名の先生方が当選した（全員当選）

・鎌田 修博　伊勢原協同病院

日本整形外科勤務医会 会長

・田尻 康人　東京都立広尾病院

日本整形外科勤務医会 事務局

・江畑 功　横須賀共済病院

関東地区整形外科勤務医会 会長

・伊室 貴　厚木市立病院

関東地区整形外科勤務医会 広報

・村松 俊樹　筑波学園病院

関東地区整形外科勤務医会教育研修委員長

・新井 嘉容　済生会川口総合病院

関東地区整形外科勤務医会 事務局

埼玉県整形外科勤務医会　代表

・松原 正明　日産厚生会玉川病院

東京都整形外科勤務医会 代表

・三原 久範　横浜南共済病院

神奈川県整形外科勤務医会 代表

・原田 義忠　済生会習志野病院

千葉県整形外科勤務医会 代表

・河内 敏行　土浦協同病院

茨城県整形外科勤務医会 代表

・岩部 昌平　済生会宇都宮病院

栃木県整形外科勤務医会 代表

・寺内 正紀　JCHO 群馬中央病院

群馬県整形外科勤務医会 代表

・新関 祐美　草加市立病院

関東地区整形外科勤医会 女性枠

7　関東地区整形外科勤務医会（第72回教育研修会）

日時：2021年6月19日（土）　14:30～18:00

場所：「ＡＰ東京八重洲通り」

14:30～15:20　幹事・常任幹事会

15:30～15:50　総会

15:50～16:00　商品説明

16:00～18:00　第72回教育研修会（2演題）

演題 1：座長 江畑 功先生（横須賀共済病院　院長補佐）

演題名：股関節手術の進歩

～疼痛に対するマネージメント～

講師：稲葉 裕先生（横浜市立大学整形外科教授）

必須分野番号：11,13

運動器リハビリテーション単位［Re］

開始時間：16:00　終了時間：17:00

演題2：座長　山縣 正庸先生（千葉労災病院 脊椎センター長）

演題名：コロナ関連の話題（仮）

講師：鈴木 康裕先生（前厚生労働医務技監）

必須分野番号：14-4

コロナ感染症拡大防止の観点から　マスク着用でのご参加をお願いします。なお、現時点では懇親会を行う予定はありません

8　第70回東日本整形災害外科学会

村松先生より報告

会長：土井田　稔先生（岩手医科大学医学部整形外科学講座教授）

会期：2021年9月17・18日

会場：アイーナ・いわて県民情報交流センターほか

・日本整形外科勤務医会事務局　田尻康人先生のご尽力により以下のように決定

テーマ「女性医師に選ばれる整形外科になるために」

座長：伊藤 淳二先生（青森県立中央病院　整形外科）

金内 ゆみ子先生（山形市立病院済生館リハビリテーション科）

演者：上里 涼子先生（弘前大学　整形外科）

新関 祐美先生（草加市立病院　整形外科）

中村 木綿子先生（岡田整形外科クリニック）

成田 有子先生（帯広協会病院　整形外科）

冨永 絢子先生（東京女子医科大学　整形外科）

【審議事項】

1　新常任幹事の推薦

・澤口 毅先生（新百合ヶ丘総合病院　外傷再建センター骨盤・関節再建部長）

（江戸川病院　泉田 良一先生からの推薦）

承認（　　）　　不承認（　　）

2　新幹事の推薦

なし

3　その他

・共催メーカー新規加入に関して

昨今、社会通念上、各講演会における医薬品メーカーとの共催の在り方において、疑念を持たれない様な形式を求められている。このため、以前より、当会における研修会も、「帝國製薬株式会社」一社のみでは、対外的誤解を受ける可能性もあるため、今年より、年2回開催される研修会のうち12月を「小野薬品工業株式会社」に共催メーカーとして加わっていただき、複数メーカーによる共催とする。

承認（　　）　　不承認（　　）

********** メール審議　結果 **********

常任幹事67名中、61名より回答

・新常任幹事の推薦

承認（　61名　）不承認（　0名　）

・共催メーカー新規加入に関して

承認（　61名　）不承認（　0名　）

・次回　幹事・常任幹事会

日時：2021年6月19日　土曜日　14:30～

場所：ＡＰ東京八重洲

以上

事務局から

コロナ禍により学会の開催形式も一変し、当会も昨年3月の常任幹事会と6月の総会はメール審議、教育研修会は余儀なく中止となりました。

その後、感染拡大予防に対して十分な対策を施し、10月の常任幹事会、12月の幹事・常任幹事会と第71回日整会認定教育研修会を対面方式で無事に開催することができました。今回の會報では、1年ぶりに講演会の抄録を掲載することができました。

次回の6月に予定されている総会と教育研修会も対面方式にて開催する予定でありますが、事情により開催や出席が困難となる可能性も危惧されます。このため、必ず同封の委任状のご返送をお願いいたします。

現在、事務局では会員名簿の整備を行っておりますため、お手数ですが、委任状のご勤務先とメールアドレスの記載をお願いいたします。

（文責：伊室　貴）

お 知 ら せ

令和３年度関東地区整形外科勤務医会

第 72 回　日整会認定教育研修会のご案内

関東地区整形外科勤務医会では、下記の通り幹事会、総会および教育研修会を開催いたします。専門医以外の先生方もお誘いの上、ご参加下さい。

コロナ感染症拡大予防の観点から、マスクの着用や手指の消毒にお努め下さいますようお願いいたします。

記

日　時：令和 3 年 6 月 19 日（土曜日）　開始時間は下記をご参照下さい

会　場：AP 東京八重洲　11F　（都合により階が変更になることがあります）

〒104-0031　東京都中央区京橋 1-10-7

TEL 03-6228-8109

幹事・常任幹事会：14:30～15:20

総会：15:30～15:50

【教育情報提供】　15:50～16:00　帝國製薬（株）製品情報室

教育研修会：16:00～18:00

【演題Ⅰ】　座長：横須賀共済病院 院長補佐　江畑 功 先生

股関節手術の進歩　～疼痛に対するマネージメント～

必須分野番号　[11],[13],[Re]

演者：　横浜市立大学整形外科学

主任教授　稲葉 裕 先生

【演題Ⅱ】　座長：千葉労災病院　脊椎センター長　山縣 正康 先生

新型コロナウイルスと医療の今後

必須分野［14-4］

演者：　前厚生労働医務技監

鈴木 康裕 先生

受講料：１題　¥1000　（単位取得者のみ）

懇親会：今回は、コロナ感染拡大予防の観点から、講演会終了後の懇親会は行いません

参加事前申込先：新井 嘉容　済生会川口総合病院 整形外科

〒332-8558 埼玉県川口市西川口 5-11-5

TEL 048-253-1551

共　催：関東地区整形外科勤務医会

帝國製薬株式会社

関東地区整形外科勤務医会　入会申込書

令和　　年　　月　　日

フリガナ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

御氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

生年月日　昭和・平成　　年　　月　　日

現住所　〒　　－

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

TEL ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

勤務先名称

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

勤務先住所　〒　　－

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

TEL ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

メールアドレス ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

役職名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

出身大学 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

卒業年次　昭和・平成　　年

出身教室 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

入会申し込み送り先

〒332-8558 埼玉県川口市西川口 5-11-5

埼玉県済生会川口総合病院　整形外科

関東地区整形外科勤務医会事務局代表　新井 嘉容

TEL　048-253-1551

FAX　048-256-5703

E-Mail　kanto.orth@gmail.com

DePuy Synthes *People inspired*™
COMPANIES OF Johnson & Johnson

VIPER PRIME

Fewer instruments.
Reduced steps.
No Jamshidi.
Zero guidewires.

One
transformative technique.

VIPER PRIME™ System
Let **one tool** inspire a new technique.

depuysynthes.jp

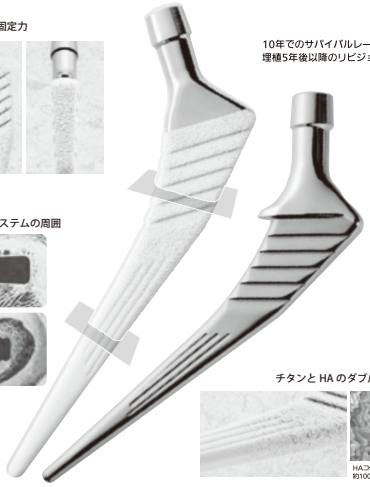
製造販売元：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 デピュー・シンセス事業本部 スパイン事業部　〒101-0065 東京都千代田区西神田 3 丁目 5 番 2 号 / 販売名：VIPER PRIME スパインシステム / 承認番号：22900BZX00419000
販売名：VIPER PRIME 器械セット / 届出番号：13B1X00204DS0066 / 販売名：VIPER PRIME スタイレット / 認証番号：229ADBZX00129000 / ©J&JKK2019・DSSE573M-01201908・122052-190829

HIPFORTRESS-ND

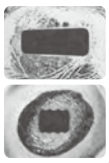
HIPFORTRESS-ND ステムは、15 年以上の歴史をもち、機能的評価、X 線評価において、短期・中長期で素晴らしい臨床成績を収めているフル HA コーティングが施されたテーパー形状の人工股関節です。
セルフロッキング原理に基づいたテーパーデザインにより、埋植が容易で術後早期の回旋や沈みに対する安定性が高くなっており、ハイグレードチタンプラズマスプレーコーティングと HA コーティングのダブルコーティングにより、骨伝導性に優れ、初期固定性の向上が期待されます。
このような特長により、無菌性ルースニングによるリビジョン率が大変低いデザインとなっています。

保証された固定力

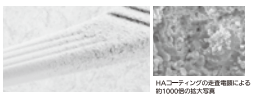
10年でのサバイバルレート99%
埋植5年後以降のリビジョンは無い



埋植されたステムの周囲



チタンと HA のダブルコーティング



HAコーティングの走査電顕による約1000倍の拡大写真

販売名：HIPFORTRESS-ND セメントレスステム　医療機器承認番号：22400BZX00478000
販売名：HIPFORTRESS-ND セメントステム　医療機器承認番号：22400BZX00466000

AI-Wiring System 0

AI- ワイヤリングシステム ゼロ

AI- ワイヤリングシステム ゼロは、
柔軟で高い引っ張り強度を持つケーブルとスリーブボックスを
一体化することで優れた固定性を得ることができ、
幅広い適応性をもつ骨端部固定システムです。

- ケーブルとスリーブボックスを圧着することで得られる優れた固定性
- 軟部組織の刺激の低減に貢献するロープロファイルインプラント形状
- 簡便で確実な操作性をもたらす専用インスツルメント

AI-PIN MINI　従来品

従来品に比べ大幅な小型化を実現しました。
圧着後も角張らない丸みを帯びたデザインとしました。

KINKLESS-CABLE

従来品

19×7のマルチフィラメント構造とすることで
優れた操作性と滑らかな表面形状を実現しました。

AI-PIN SINGLE

骨面と同レベルまで打ち込むことができるように
テーパー状のヘッドホールを採用しました。

STANDARD-SLEEVE

小さく丸みを帯びたデザインとしました。

販売名：AI-ワイヤリングシステム ゼロ　医療機器承認番号：22800BZX00201000
販売名：キンクレスケーブル　医療機器承認番号：22800BZX00200000

株式会社 Aimedic MMT
〒108-0075 東京都港区港南1-2-70 品川シーズンテラス
URL：http://www.aimedicmmt.co.jp/

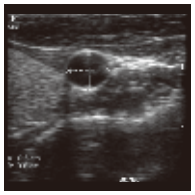
ポケットエコー miruco リニアプローブ

・重さ約400g（プローブ・タブレット）
・10MHzのリニアプローブ
・距離計測機能を搭載
・３時間連続動作 ※フル充電時

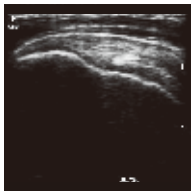
「いつでも、どこでも、すぐに診る」

医療・スポーツ現場の課題を解決する
新世代の運動器エコー！

詳細は専用Webページから ▶▶▶



距離計測機能使用イメージ



肩：棘上筋腱

汎用超音波画像診断装置　管理医療機器 / 特定保守管理医療機器　医療機器認証番号　228AHBZX00010000

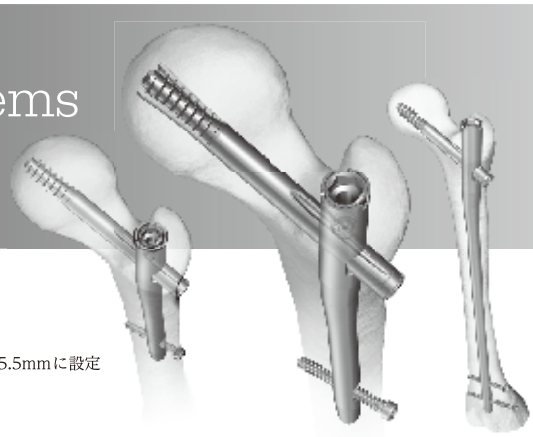
製造販売業者
SIGMAX 日本シグマックス株式会社
インターネットで日本シグマックスの情報をご覧いただけます。 日本シグマックスのホームページ https://www.sigmax-med.jp/

本社：〒163-6033 東京都新宿区西新宿6-8-1
お客様窓口 TEL.0800-222-6122（通話料無料）
受付時間：9時～17時（平日）※土日、祝日、年末年始を除く

stryker

Gamma3
Hip fracture systems
ガンマ 3 ヒップフラクチャーシステム

ガンマ3 トロキャンテリックネイル
ガンマ3 ロングネイル R1.5
ガンマ3 U-ラグスクリュー



U- ラグスクリュー
高い回旋抵抗力と骨把持力

ネイル形状
日本人の大腿骨形状に合わせて長さを170mm、近位径を15.5mmに設定

Distal Targeting System
高精度かつ操作性に優れたディバイス

医療機器承認番号	販売名
21500BZY00261000	ガンマ３ ロッキングネイルシステム
22400BZX00049000	ガンマ３ U- ラグスクリュー
21300BZY00378000	T2 ロッキングネイルシステム

※本製品に関するお問い合わせは弊社営業までお願い致します。

製造販売業者
日本ストライカー株式会社
112-0004 東京都文京区後楽2-6-1 飯田橋ファーストタワー
P 03 6894 0000
www.stryker.com/jp
医療従事者向けサイト：Stryker medical professional site
www.stryker.co.jp/mp2/

かけがえのない命の手助け…

『人と医療』のパートナー

サンメディックス株式会社

本　　社　〒104-6136
東京都中央区晴海1-8-11 晴海トリトンスクエアY棟36階
TEL 03-5144-0855(代)　FAX 03-5144-0850

□宇都宮支店　〒320-0074　栃木県宇都宮市細谷町388-1　TEL:028-616-1580(代)　FAX:028-623-7350
□東京第一支店　〒179-0075　東京都練馬区高松6-35-15　TEL:03-5923-6235(代)　FAX:03-5393-3057
□東京第二支店　〒130-0014　東京都墨田区亀沢4-17-12　TEL:03-5619-4551(代)　FAX:03-6859-0016
□東京第三支店　〒168-0063　東京都杉並区和泉1-22-19　TEL:03-6680-0460(代)　FAX:03-6680-0538
□川 崎 支 店　〒216-0005　神奈川県川崎市宮前区土橋1-21-5　TEL:044-870-6377(代)　FAX:044-866-3813
□横 浜 支 店　〒240-0005　神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134　TEL:045-348-7260(代)　FAX:045-348-7261
□相模原支店　〒252-0334　神奈川県相模原市南区若松1-1-3　TEL:042-767-3771(代)　FAX:042-767-3773
□首都圏物流センター　〒144-0042　東京都大田区羽田旭町11-1 羽田クロノゲート内　TEL:03-5735-7111(代)　FAX:03-3743-8811

□小山営業所　0285-30-3388(代)
□佐野営業所　0283-21-1007(代)
□水戸営業所　029-305-6125(代)
□筑波営業所　029-850-5185(代)
□前橋営業所　027-280-4433(代)
□埼玉営業所　048-640-6621(代)
□埼玉西営業所　0493-21-7310(代)
□千葉営業所　043-244-6322(代)
□多摩営業所　042-348-5011(代)
□厚木営業所　046-296-2822(代)
□山梨出張所　055-280-8015(代)
□長野営業所　026-229-8030(代)
□松本営業所　0263-24-1125(代)
□名古屋営業所　052-218-2735(代)

URL : http://www.sunmedix.co.jp　E-mail : mailbox@sunmedix.co.jp

TEIKOKU
SEIYAKU CO.,LTD.

無香性の フェルビナク含有貼付剤（パップ剤・テープ剤）

経皮鎮痛消炎パップ剤・テープ剤（無香性）　薬価基準収載

セルタッチ® パップ70・140・テープ70

SELTOUCH® Pap 70/140・Tape 70 日本薬局方 フェルビナクパップ・フェルビナクテープ

禁忌（次の患者には使用しないこと）
1. 本剤又は他のフェルビナク製剤に対して過敏症の既往歴のある患者
2. アスピリン喘息（非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発）又はその既往歴のある患者［喘息発作を誘発するおそれがある。］

■効能・効果

下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎
- 変形性関節症
- 肩関節周囲炎
- 腱・腱鞘炎
- 腱周囲炎
- 上腕骨上顆炎（テニス肘等）
- 筋肉痛
- 外傷後の腫脹・疼痛

■用法・用量

1日2回患部に貼付する。

■使用上の注意

1. 慎重投与（次の患者には慎重に使用すること）
   気管支喘息のある患者［喘息発作を誘発するおそれがある。］
2. 重要な基本的注意
   (1) 消炎鎮痛剤による治療は原因療法ではなく対症療法であることに留意すること。
   (2) 皮膚の感染症を不顕性化するおそれがあるので、感染を伴う炎症に対して用いる場合には適切な抗菌剤又は抗真菌剤を併用し、観察を十分行い慎重に使用すること。
   (3) 慢性疾患（変形性関節症等）に対し本剤を用いる場合には薬物療法以外の療法も考慮すること。また、患者の状態を十分観察し、副作用の発現に留意すること。
3. 副作用
   セルタッチパップ70
   本剤の副作用集計対象となった5,033例中、71例（1.41%）に副作用が認められた。その主なものは皮膚炎（発疹、湿疹を含む）（0.44%）、そう痒（0.44%）、発赤（0.40%）、接触皮膚炎（0.34%）等であった。［再審査終了時の集計］
   セルタッチパップ140
   1枚中フェルビナク70mg含有貼付剤（パップ剤）の副作用集計対象となった5,033例中、71例（1.41%）に副作用が認められた。その主なものは皮膚炎（発疹、湿疹を含む）（0.44%）、そう痒（0.44%）、発赤（0.40%）、接触皮膚炎（0.34%）等であった。［再審査終了時の集計］
   セルタッチテープ70
   本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。
   (1) 重大な副作用（頻度不明）
   ショック、アナフィラキシー：ショック、アナフィラキシー（蕁麻疹、血管浮腫、呼吸困難等）があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には使用を中止し、適切な処置を行うこと。
   (2) その他の副作用
   セルタッチパップ70・140
   以下のような副作用があらわれた場合には、症状に応じて使用を中止するなど適切な処置を行うこと。なお、本項には自発報告等副作用発現頻度が算出できない副作用報告を含む。

	副作用の頻度		
	0.1～1%未満	0.1%未満	頻度不明
皮膚	皮膚炎（発疹、湿疹を含む）、そう痒、発赤、接触皮膚炎	刺激感	水疱

   セルタッチテープ70
   以下のような副作用があらわれた場合には、症状に応じて使用を中止するなど適切な処置を行うこと。

	頻度不明
皮膚	皮膚炎（発疹、湿疹を含む）、そう痒、発赤、接触皮膚炎、刺激感、水疱

   なお、セルタッチ（フェルビナク70mgを含有するパップ剤）では副作用集計対象となった5,033例中、71例（1.41%）に副作用が認められた。その主なものは皮膚炎（発疹、湿疹を含む）（0.44%）、そう痒（0.44%）、発赤（0.40%）、接触皮膚炎（0.34%）等であった。［再審査終了時の集計］

製造販売元
帝國製薬株式会社
香川県東かがわ市三本松567番地

〈製品情報お問い合わせ先〉
医薬営業部　製品情報室
TEL：0120-189-567
受付時間／月～金 9:00～17:30（祝日、当社休日を除く）
https://www.teikoku.co.jp/medical/

●その他の使用上の注意は、添付文書をご参照ください。

2020.1 作成